

環境問題シリーズ 第11章

地球環境改善チェックシートの自己採点集計結果

地球環境に学ぶサークル

地球環境に学ぶサークルでは、最近の地球環境の危機的状況に鑑み「環境行動宣言 2021」を作成し、一人一人が実行できそうな 20 項目を定めて、6 月号「広場」で公表しました。

今般、ところざわ倶楽部各サークルのご協力で 118 名の方に自己採点して頂いた結果、エコバック持参やごみ分別は良好でしたが、再エネ新電力への切替え、環境重視企業・政治家支援、自動車使用削減、太陽光パネル設置、生ごみ肥料化、衣類リサイクル等は、まだまだ改善が必要であることが分かりました。

一年後に再度自己採点をお願いする予定です。表の「今後の改善取組のヒント」等を参考にされ、地球環境改善のために一人一人が頑張りましょう。皆で頑張ればまだ間に合います。

具体的取組項目別の平均点と改善取組のヒント。評価は ○良好、△いま一步、×改善要 と定義しました。各項目 5 点満点で合計 100 点。最高点の方は 90 点、最低点は 28 点、平均は 60.4 点でした。

環境行動宣言2021と具体的取組項目		118名の平均	評価	今後の改善取組のヒント
1 温暖化抑制	再エネ重視の新電力へ切替え	2.1	×	低価格を訴える新電力が多いが、問題は再エネ比率。再エネ主体で東電並価格なら新電力を選ぼう。
	環境重視の企業・政治家を応援	2.7	×	環境問題を企業イメージや選挙活動に使う者が多い。騙されず本物を見極めるのは市民の意識・責任。
	庭やベランダで緑・野菜栽培	3.3	△	植物は光合成で空気中のCO ₂ を吸収、O ₂ を排出。
	車使用の削減、車のEV化	2.8	×	CO ₂ 発生の約20%は車。徒歩、自転車、公共交通を利用しよう、EVも今後価格低下が期待される。
	照明LED化、こまめな節電	3.8	△	家庭の電力消費の約15%は照明、LEDの消費電力は蛍光灯の50%。
	冷暖房エネルギーの削減	3.2	△	高断熱のマンションや二重窓で冷暖房エネルギー削減。
	太陽光発電・温水器の利用	1.7	×	太陽光発電の普及9%(2020)、太陽熱温水器は効率良く、設備費用は太陽光発電の1/4以下。
2 大気・海洋汚染防止	使い捨てプラスチック包装の削減	3.2	△	日本の使い捨てプラスチックの使用量は米国に次ぎ2位。
	エコバッグ・マイボトル持参	4.2	○	エコバッグ利用率は約80%、マイボトル利用率は約40%。
	環境に優しい洗剤を使用	2.9	×	洗剤の約10%は石鹼、合成洗剤90%(経産省2018)、環境重視で石鹼に切り替えよう。
	包装プラスチックをスーパーへ返却	2.7	×	所沢もいずれゴミ回収有料化に進む、スーパーへの返却を今のうちに習慣化しよう。
	地元産品の購入	3.1	△	遠隔地の産品を買うと輸送によるCO ₂ 発生が莫大。
3 食料廃棄削減	もったいない、食べ残しゼロ	3.9	△	日本の食品廃棄612万t/年、48Kg/人(農水省2017)。
	過剰生産廃棄される食品不買	3.4	△	恵方巻、おせち、クリスマス等の季節品。
	賞味期限まじか品の積極購入	3.1	△	賞味期限に振り回されず買い物をしよう。賞味期限と消費期限は異なる。
	計画的食品購入と冷蔵庫内管理	3.6	△	冷蔵庫を日頃から整理しないと食品廃棄が増える。
4 3Rの徹底	ごみ分別による再利用促進	4.1	○	日本はごみの80%を焼却(環境省)し多くのCO ₂ を排出。
	生ごみを焼却せず肥料化	2.1	×	燃えにくい生ごみをごみ回収に出さず、家庭のコンポスト等で菜園や花壇の肥料とする。
	衣類リサイクルの活用	2.5	×	市のエコステーションに持ち込んだり、春秋の「もったいない市」に出す、ルカヤハードウェアもお勧め。
	節水(トイレ、シャワー)、雨水利用	2.4	×	最新トイレは10年前より66%節水、便器交換は10-20万円程度。